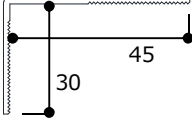
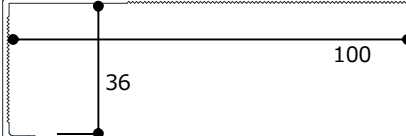
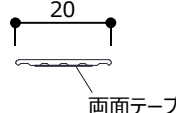


■ 設計・施工時の注意

- 本製品は**木製の敷居専用**です。それ以外の箇所には使用できません。
- 本製品取り付け後は、段差が1.5mm増しますので、事前にご確認ください。
- 本製品は、既存の敷居に固定する「**接着・両面テープ**」施工となります。接着剤や両面テープは必ず指定品をご使用ください。
- **既存の敷居に、ささくれ、汚れ、ほこり等がある場合は必ず除去してください。接着不良や施工後の製品ズレの原因となります。**
- **敷居の溝に古い滑り材が付いている場合は必ず取り除いてください。接着不良の原因となります。**
- カッターを使用する際は、刃が通る位置に手を置かないでください。カッターが滑り、手にけがをする恐れがあります。
- カット後の端面は、サンドペーパー等でバリを取ってください。端面で手や足にけがをするおそれがあります。
- 本製品を敷居の溝に貼り付ける（指で横滑りさせて貼り付ける）際は、ささくれ・摩擦熱等で手にけがをしないようご注意ください。
- 保管の際は、直射日光を避けて平らな場所に平置きしてください。立て掛けると製品が変形するおそれがあります。

■ 使用部材

- L字カバー、コの字カバー、目地材（下表のセット内容・部材・数量をご確認ください）

呼称	L字カバー	コの字カバー	目地材
	 長さ2.2m、厚み1.5mm	 長さ2.2m、厚み1.5mm	 長さ2.2m、厚み1.2mm
敷居カバー 引違い用	2本	なし	2本
敷居カバー 片引き用	1本	1本	1本

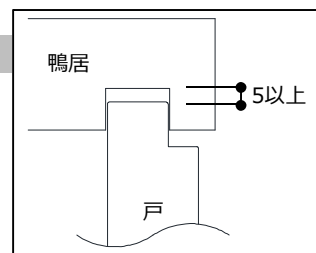
■ 必要工具・部材 ※接着剤・両面テープは指定品をご使用ください。それ以外は現地調達ください。

【工具】 巻尺、さしがね、丸ノコ、のこぎり、カッター、サンドペーパー、シーリングガン（接着剤塗布用）

【部材】 接着剤（※接着剤1本333mlの施工目安：敷居カバー約3セット分）、両面テープ（巾5mm）

■ 施工前の確認

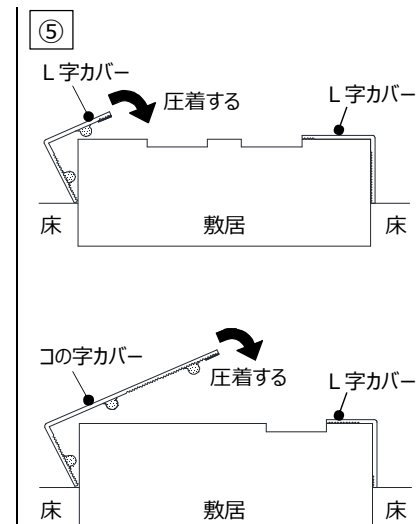
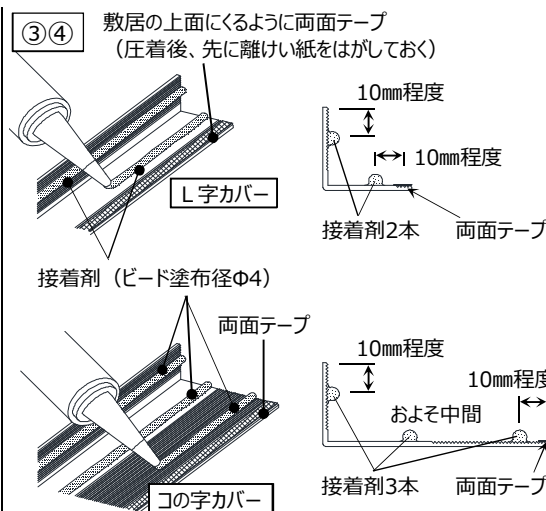
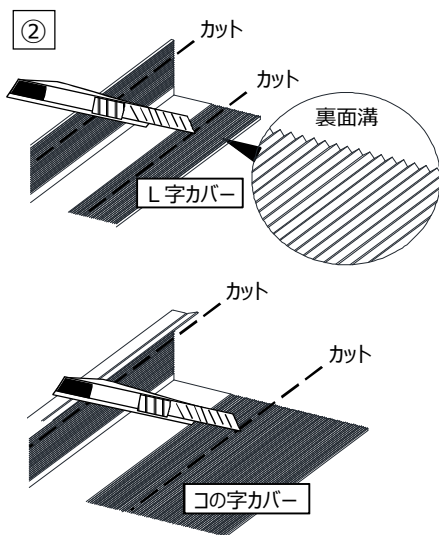
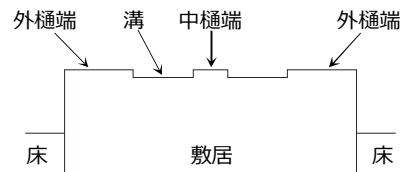
- ① 鴨居と戸の間に、右図のような5mm以上の隙間があるかどうか確認する。
→5mm以上の隙間が無い場合は、最後に **4.戸の高さ調整-②** が必要になることがあります。
- ② 戸を外す。
- ③ 敷居の溝に古い滑り材が付いている場合は取り除く。



■ 施工手順

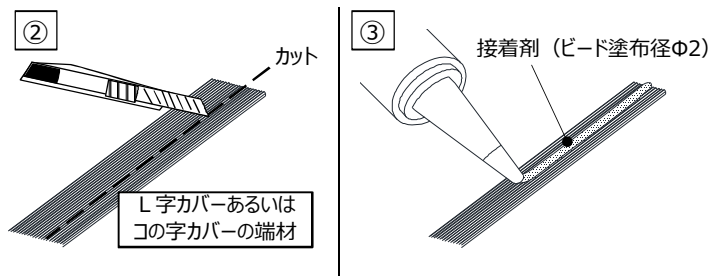
1. 外樋端（そとひばた）への『L字カバー』『コの字カバー』貼り付け

- ① のこぎりが必要長さにカットする。
- ② 外樋端の高さ・巾に合わせてカッターでカットする。
※裏面の1mmピッチの凹凸に沿って、切れ目を3～4回入れてカットする。
※カット後の端面は、サンドペーパー等でバリ取り・面取りを行なう。
※カット後に残った端材は、**2.中樋端への端材貼り付け** で使用するので保管しておく。
- ③ 裏面に両面テープをしっかり圧着して貼り、離れ紙をはがす。テープは敷居の上面にくるように貼る。
- ④ 裏面に接着剤を塗布する。（ビード塗布径Φ4）※約5～10分で硬化し始めます。
- ⑤ 外樋端に圧着して貼り付ける。



2. 中樋端（なかひばた）への『端材』貼り付け

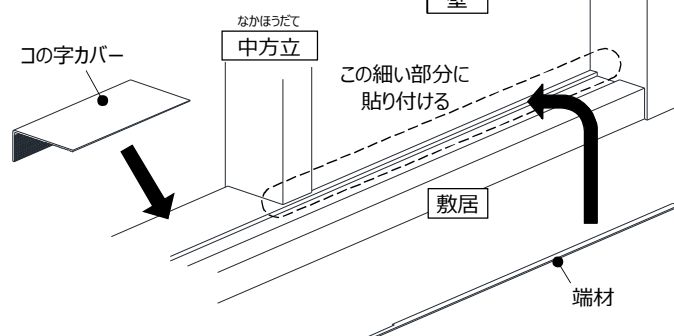
- ① 1.でカットしたL字カバーの端材を、必要長さにカットする。
- ② 中樋端の中に合わせてカッターでカットする。
※裏面の1mmピッチの凹凸に沿って、切れ目を3～4回入れてカットする。
※カット後の端面は、サンドペーパー等でバリ取り・面取りを行なう。
- ③ 裏面に接着剤を塗布する。（ビード塗布径Φ2）※約5～10分で硬化し始めます。
- ④ 中樋端に圧着して貼り付ける。



- ④ 【引違い戸の敷居】
端材
↓ 圧着する

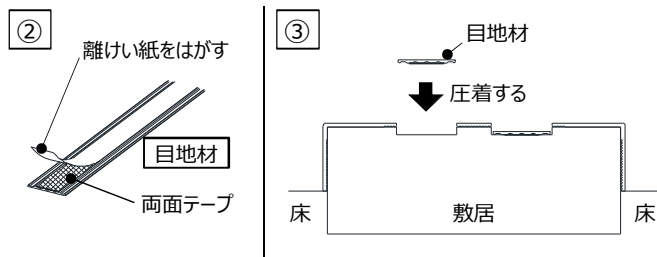


【片引き戸の敷居】



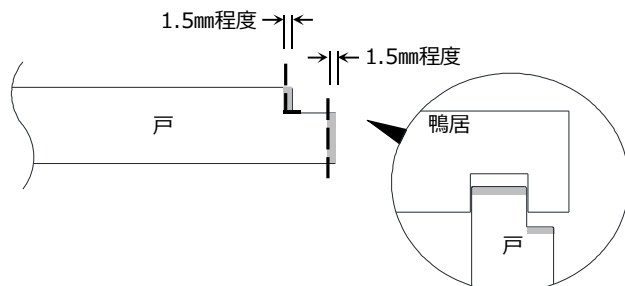
3. 溝への『目地材』貼り付け

- ① カッターで必要長さにカットする。
- ② 裏面にあらかじめ貼られている両面テープの離れ紙をはがす。
- ③ 敷居の溝に圧着して貼り付ける。



4. 戸の高さ調整

- ① 戸が入るかどうか、入れた戸がスムーズに動くかどうか、を確認する。
- ② 入らなかったりスムーズに動かない場合は、戸の高さを調整する。
→丸ノコで、戸の上部を1.5mm程度切り落とす。



●参考納まり図

